

パーキンソン病の状態を、患者さん自身でチェック！

ウェアリング・オブ チェックリスト ご使用にあたって

【監修】和歌山県立医科大学 神経内科

教授 **近藤 智善**

パーキンソン病患者さんのwearing-off現象の出現を見出す一助としてご活用ください！

監修者のコメント

和歌山県立医科大学 神経内科 教授 **近藤 智善**

パーキンソン病はその症状や進行のスピード、または治療状況に個人差が大きいため、wearing-off現象がいつ頃から発現するかは、患者さんによって異なります。

一般的に医師は、外来患者さんのwearing-off現象の出現を、患者さん自身や介護者の訴え(問診、患者日誌など)のみから認識することができます。したがって、患者さんの訴えが医師に十分に伝わっていない場合には、医師はwearing-off現象の出現を認識できない場合もあります。

現在欧米では、Stacy¹⁾らによって提案された患者自記式質問票『Wearing-off Question Card²⁾』が、wearing-off現象の出現を見出すきっかけとして、臨床医に広く活用されています。

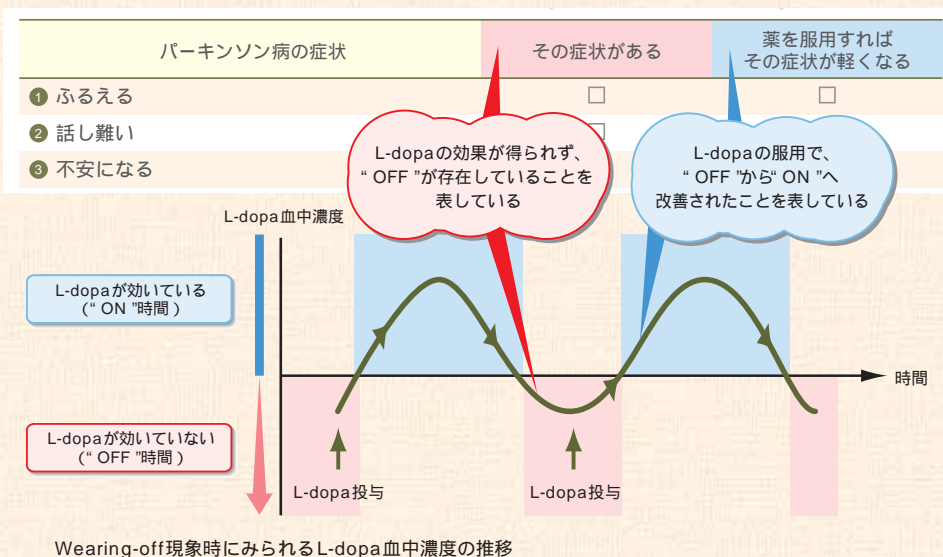
この『Wearing-off Question Card』の日本語版として『ウェアリング・オフチェックリスト』を作成しましたので、日常診療においてwearing-off現象の出現を見出す一助としてお役立ていただければ幸いです。



1) Duke University Medical Center 2) Stacy M et al. Mov Disord 2005; 20: 726-733

『ウェアリング・オフチェックリスト』の特徴

- 1 現在欧米で汎用されている、患者自記式質問票『Wearing-off Question Card』の日本語版
- 2 チェックするパーキンソン病の症状には、「運動症状」のほか、「**非運動症状**」も収録
- 3 各症状に対して、「その症状がある」と「薬を服用すればその症状が軽くなる」の2つの質問で、wearing-off現象で見られる“**ON**”と“**OFF**”の存在を確認



● チェックリストの結果

19項目の症状のうち、**1つでも**、
「その症状がある」と「薬を服用すればその症状は軽くなる」の
両方にチェック(☑☑)が付いた患者さんは...?!

パーキンソン病の症状	その症状がある	薬を服用すれば その症状が軽くなる
① ふるえる	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 話し難い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 不安になる	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④ 汗をかく	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤ 気分が変化する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥ 脱力感がある	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
⑦ バランスがうまくとれない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑧ 動きが緩慢	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>



**Wearing-off現象が
出現している可能性があります！**

1項目でも、両方にチェックが付いた患者さんには、
さらなる問診や「症状日誌」によって
服薬と症状出現・改善のパターンを確認し、
wearing-off現象が出現しているかどうかを
診断してください。



ノバルティス ファーマ株式会社